

2022年、高校1年生から新課程がスタート！

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。2020年度から始まった新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められているそうです。さて、2022年入学の高校生から新しい課程の授業がスタートします。新課程では、論理的思考力や表現力、問題解決能力がより一層必要とされる学習内容となります。また、高校の学習内容が新しくなるということは、大学受験にもその影響が及んでいきます。どのような変化があるのか要チェックです。

新課程により変わる教科・科目

今回の新課程により様々な教科で変更・新設がありました。以下にその内容を簡単にまとめました。

- 【情報】⇒高度なプログラミング技術を学ぶ「情報Ⅰ」が必修科目に！より専門的な内容の「情報Ⅱ」も新設。
- 【国語】⇒大学入試において読解力重視の傾向が強まっていることに伴い、新課程では国語教育の重要性が強調されている。高校国語では、高いレベルの読解力や情報整理能力が求められ、「国語が苦手」では、大学入試に通用しなくなる！
- 【数学】⇒数学C（旧数Cとは異なる）が新設され5分野⇒6分野に！さらに統計学(数B)も必須化！
- 【地歴】⇒近現代の世界史・日本史を扱う「歴史総合」、現代の地理的課題を考察する「地理総合」の2つの新科目が必修科目に。地歴とも知識だけでなく思考力が問われる科目に！

【公民】⇒成人年齢や選挙権年齢の引下げをふまえた主権者教育の重点化に伴い新設された「公共」が必修科目に。「覚えるだけ」でなく、現代の課題について主体的に考える力が必要な科目となる。

【英語】⇒高校卒業までに扱う語彙数は 3000 語から 4000～5000 語に増加。ディベートやディスカッションを通して発信力を高める「論理・表現」が新設され、授業は原則英語のみで行われる。

変わる大学受験！気になる今後の大学入試の動向

これらの新教科・新科目を、高 1 から学習する 2022 年度の高 1 生が、高 3 になり受験する 2025 年度の入試から、大学入試も新課程対応となり変わります。

共通テストでは新学習指導要領を踏まえ「地理歴史」「公民」「数学」の出題科目が見直されます。また『国語』『数学②』は、試験時間が 10 分延長されます。新設科目をはじめあらゆる科目で、多様な文章や多くの資料を読みこなす力が求められる試験内容です。2025 年度の共通テストについては、まだ詳細が明らかにされていない点も多くありますので、今後の情報収集が欠かせません。

各大学でも入試改革が進行中！去年は、早稲田、上智、青山、立教など、上位の人気大学で入試改革が行われ、今後も多くの国公・私立大学で、入試内容の変更が行われると予想されます。大学個別試験では、記述・論述形式の問題や、複数科目が含まれる総合問題の出題がますます増加するでしょう。

2025 年度入試の公表はこれからで、各大学の入試がどのように行なわれ、各学部・学科でどの科目が課されるのかは、まだ発表されていません。今後、各大学の入試情報を集め、それらをもとに、適切な選択と対策を行なっていくことが大変重要です。

